

Hotな 白石の人

人と環境に優しい
リンゴと西洋梨をつくっています
菊地 哲夫さん

近年、化学肥料や農薬の多用により生じる環境汚染や、農地の生産力低下が大きな問題になるとともに、食の安全

に対する消費者の関心が高まりつつあります。こうした中、平成11年に土づくりや減化学肥料・減農薬に取り組む農家を「エコファーマー」として県が認定する法制度が整備され、安心・安全かつ質の高い農産物の生産を積極的に支援するようになりました。これを受け、当市で最も早くエコファーマーの認定を受けたのが、郡山でリンゴと西洋梨を生産している菊地哲夫さんです。その取り組みなどについて、お話を伺いました。

●エコファーマーの取り組みを始めたきっかけは？

消費者の皆さんに安全で安心な果物を提供しようと思ったことが一番のきっかけです。また、これからの時代、ほかの商品との差別化を図らないと生き残れないだろうという思いもありました。



▲おいしさの秘密は、完熟するまで収穫しないことです。

早い時期から減化学肥料・減農薬での栽培に取り組み、減農薬農産物の認証を県から得ていたことと、以前から土づくりにも取り組んでいたため、比較的すんなりと「エコ



▲自慢の果樹畑で。「今年はとても味が良いものができました。皮まで食べられますよ。」と話してくれました。

ファーマー」の認定を受けることができました。害虫や病気の発生予防を行い、予防や駆除をしなければなりません、それ以外は以前から取り組んでいたことなので、特に大変だと感じたことはありません。

●今後の目標と市民の皆さんへのメッセージをどうぞ！

エコファーマーとしての取り組みを今後も継続していくことが一番大切であると思っています。そうすれば、まだまだ良くなっていくのではないかなと思っています。自分の生産物を向上させるということもありますが、それ以上に住環境に優しい農業を営んでいきたいと思えます。まして白石は水のきれいな町なので、農業環境をもっと良くして、空気も、土も川も汚れていない美しいまちになってほしいと願っています。現在、市内でエコファーマーは私一人だけと聞きましたが、たくさんの皆さんが認定を受けてほしいと思います。



▲エコファーマー（左）と減農薬農産物認証（右）のシール。このマークが目印！

チビッコ美術館

「おおきなかぶ」



菅野 友葵さん
(白一小・1年)

わが家の アイドル

ママからひとこと
いつもすてきな笑顔
ありがとう
これからも元気に
育ってね！

パパからひとこと
いっぱい いっぱい
みんなで楽しいこと
見つけようね！



ひら ま こ の み
心乃美ちゃん
幸宏さん、和子さんご夫妻の長女（半沢屋敷前）

※我が家のアイドルを募集中！
詳しくは総務課広報広聴係
(☎22-1331)へ

白石の風景50選



「白鳥」 菅野 雅志さん(大川町)

※「定例相談日」は、お知らせ特急便コーナー（29ページ）に掲載しています。

2月は 国民健康保険税（8期）の納期です 介護保険料（6期）

「夜間収納総合窓口」開設のお知らせ

市で取り扱う全ての税金・料金を納入できるようになりました。
仕事などでお忙しい方、ぜひ利用ください。

- 日時 3月1日(水)・2日(木)
17:30～19:30〔市税は17:30～20:00〕
- 場所 市庁舎1階 収納管理室ほか

市の木	市の花	市の鳥
ブナ	ヤマブキ	ウグイス